

「お互いが寄り添いあえる社会を目指して」

～障がいと共に生きる人生と将来のビジョン & 今後の自動車社会について～

「高次脳機能障がいを負った息子との日々 そして家族のビジョンについて」



栃木県在住

袖山 寿美江 さん
(そでやま すみえ)

袖山 卓也 さん
(そでやま たくや)の母

息子が25歳の時交通事故に遭い脳損傷し意識不明となる。治療により救命するが、高次脳機能障害と身体障害が残った。高次脳機能障害の様々な症状があるが、息子は自覚がなく前向きに生活している。今までの経緯や症状を知ってもらうことで、高次脳機能障害について多くの方々に理解を深めてほしいと思っている。

「不便だけど不幸じゃない」 絵画の世界が心を潤す



栃木県在住

渡邊 成一 さん
(わたなべ せいいち)

「ギャラリー懐風」代表

1986年交通事故により頸椎を損傷し車いす生活となり、リハビリの一環と生きがいのため絵画習得に励む。

1998年地域の文化交流の場として「ギャラリー懐風」を設立し、活動中。また、ナスバ栃木支所に設けているナスバギャラリーにも絵画を数点展示しており、来所される方々の癒しとなっている。

「自動車の安全技術の進化」

株式会社 本田技術研究所 (栃木県)
先進技術研究所 知能化・安全研究ドメイン

チーフエンジニア 郡司 泰明 さん(ぐんじ やすあき)

2006年(株)本田技術研究所入社。以降、四輪の歩行者・自転車乗員、乗員保護技術の研究に従事。現在は、二輪の安全技術に関する研究を通して、二輪、四輪、歩行者、自転車乗員など、すべての交通参加者の安全・安心な交通社会の実現に向けて業務推進を行っている。



シンポジウム

各講演者とナスバ
栃木支所職員との
シンポジウム

参加料
無料

開催日

11月29日(土)

13時15分 開始 (12時 開場)

16時30分 終了予定

会場

とちぎ福祉プラザ 1階 多目的ホール

(宇都宮市若草1丁目10番6号 ☎028-621-2940)

主催

ナスバ (独立行政法人自動車事故対策機構) 栃木支所



めざすのは、
自動車事故ゼロの社会。

お申込みは裏面へ

申込方法

ナスバ（独立行政法人自動車事故対策機構）

栃木支所

<担当：嶋田、尾上、福富>

FAX：028-651-2703 電話：028-651-2701

メール：tochigi-houmon@nasva.go.jp



申 込 書

お名前（フリガナ）	
お名前（漢 字）	
電 話 番 号	
会 社 名 等	
お名前（フリガナ）	
お名前（漢 字）	
電 話 番 号	
会 社 名 等	
お名前（フリガナ）	
お名前（漢 字）	
電 話 番 号	
会 社 名 等	

【12時開場、13時15分開始】



めざすのは、
自動車事故ゼロの社会。